

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース

運用報告書(全体版)

第12期(決算日2015年11月18日)

作成対象期間(2014年11月19日～2015年11月18日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信/内外/株式	
信託期間	2003年11月19日から2018年11月18日(当初、2013年11月18日)までです。	
運用方針	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定します。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース マザーファンド	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とします。 世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース/Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	毎決算時に、原則として繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円ヘッジベース)	期騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期(2011年11月18日)	11,108	100	△ 6.4	121.55	6.2	96.8	—	1,847
9期(2012年11月19日)	14,107	400	30.6	171.90	41.4	100.2	—	2,098
10期(2013年11月18日)	20,010	800	47.5	277.03	61.2	96.9	—	2,889
11期(2014年11月18日)	24,550	850	26.9	376.66	36.0	97.5	—	2,925
12期(2015年11月18日)	26,844	1,000	13.4	426.40	13.2	91.1	—	2,792

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数 (=ナスダック・バイオテック指数 (円ヘッジベース)) は、ナスダック・バイオテック指数 (US\$ ベース) を当社が独自にヘッジコストを考慮して円換算したものです。
(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円ヘッジベース)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2014年11月18日	24,550	—	376.66	—	97.5	—
11月末	25,887	5.4	395.57	5.0	92.4	—
12月末	26,258	7.0	401.47	6.6	95.1	—
2015年1月末	27,631	12.5	420.38	11.6	90.4	—
2月末	29,343	19.5	443.69	17.8	89.1	—
3月末	29,965	22.1	457.29	21.4	91.4	—
4月末	28,569	16.4	448.28	19.0	89.8	—
5月末	30,876	25.8	474.68	26.0	97.0	—
6月末	30,675	24.9	469.33	24.6	92.1	—
7月末	32,024	30.4	491.99	30.6	91.9	—
8月末	29,822	21.5	458.21	21.6	90.9	—
9月末	25,045	2.0	376.01	△ 0.2	92.9	—
10月末	27,430	11.7	426.47	13.2	93.2	—
(期末)						
2015年11月18日	27,844	13.4	426.40	13.2	91.1	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	期騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期(2011年11月18日)	9,060	0	△13.3	103.90	△ 1.3	97.2	—	2,141
9期(2012年11月19日)	12,325	200	38.2	156.21	50.3	96.8	—	2,282
10期(2013年11月18日)	20,952	800	76.5	310.85	99.0	95.8	—	6,219
11期(2014年11月18日)	29,498	1,030	45.7	492.84	58.5	96.0	—	7,444
12期(2015年11月18日)	33,447	1,500	18.5	593.89	20.5	92.7	—	11,791

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数 (=ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)) は、ナスダック・バイオテック指数 (US\$ベース) を当社が独自に円換算したものです。
(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2014年11月18日	29,498	—	492.84	—	96.0	—
11月末	31,428	6.5	525.01	6.5	90.9	—
12月末	32,375	9.8	543.58	10.3	94.3	—
2015年1月末	33,307	12.9	558.51	13.3	92.0	—
2月末	35,652	20.9	594.76	20.7	89.9	—
3月末	36,558	23.9	617.87	25.4	91.9	—
4月末	34,610	17.3	600.56	21.9	90.8	—
5月末	38,744	31.3	661.36	34.2	94.6	—
6月末	38,184	29.4	647.46	31.4	92.0	—
7月末	40,317	36.7	687.93	39.6	90.7	—
8月末	36,884	25.0	626.12	27.0	91.4	—
9月末	30,702	4.1	508.92	3.3	93.5	—
10月末	33,809	14.6	581.99	18.1	92.8	—
(期末)						
2015年11月18日	34,947	18.5	593.89	20.5	92.7	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

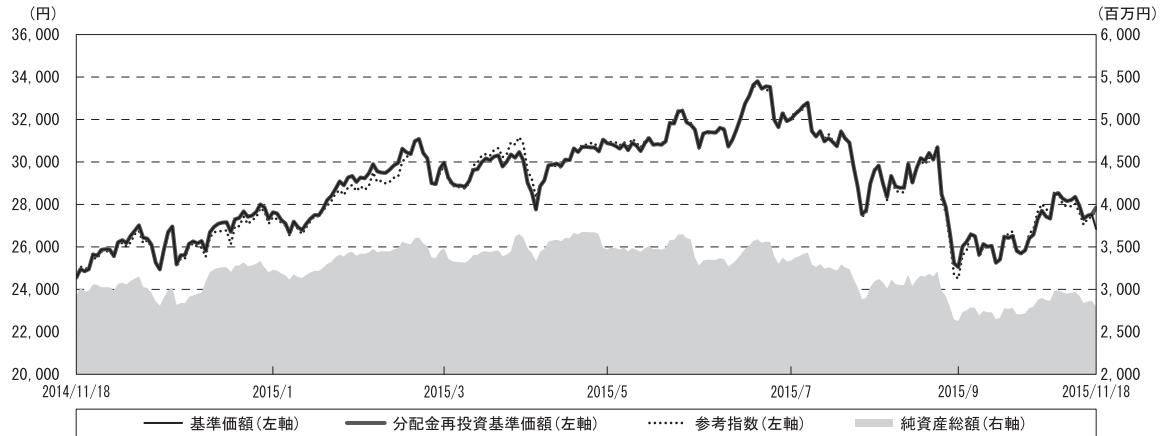
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：24,550円

期末：26,844円(既払分配金(税込み)：1,000円)

騰落率：13.4%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2014年11月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数(円ヘッジベース)です。作成期首(2014年11月18日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首24,550円から期末26,844円となりました。

(下落)

- ・2015年4月、独立系米バイオ医薬品メーカーが心不全の治療薬について米国FDA(食品医薬品局)の承認を受けるなど好材料があったものの、利益確定の売りに押されたこと。
- ・2015年8月から9月にかけて、人民元の切り下げが実施されたことを受けて、中国経済の減速に対する不安感が広がったこと、米国大統領選候補者が提案する医療費負担軽減策により医薬品会社の利益率や収益性が損なわれるのではないかとの見方が浮上したこと。

<Aコース>

(上昇)

- ・2014年12月から2015年2月にかけて、HIV/AIDS・肝炎などの治療薬に注力する米バイオテクノロジー会社が予想を上回る10-12月期決算を発表したこと、独立系米バイオ医薬品メーカーが関節リウマチ治療薬の治験において良好な結果を発表したこと。
- ・2015年5月、医療製品の研究開発と商品化を手掛ける米バイオ医薬品メーカーが市場予想を上回る1-3月期決算を発表したこと。

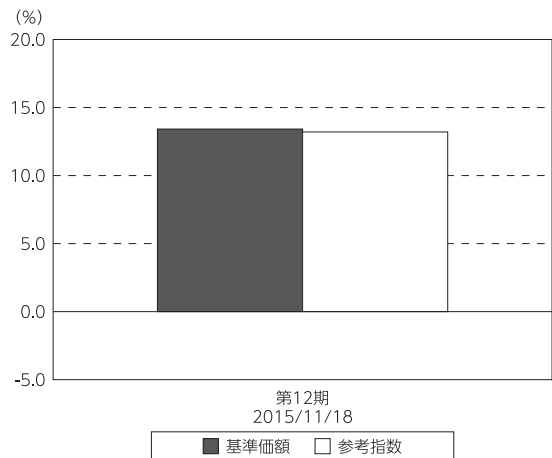
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円ヘッジベース）の13.2%の上昇に対し、基準価額は13.4%の上昇となりました。差異要因として、主なマイナス要因は、肝臓ガン治療薬の研究・開発及び商業化に従事するオーストラリアの特殊医薬品会社などの株価が下落したことなどがあげられます。主なプラス要因は、医療ニーズがまだ満たされていない薬品の開発などに注力する臨床期向け米バイオ製薬会社などの株価が上昇したことなどがあげられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円ヘッジベース）です。

<Aコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,000円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第12期
	2014年11月19日～ 2015年11月18日
当期分配金	1,000
(対基準価額比率)	3.591%
当期の収益	1,000
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	16,843

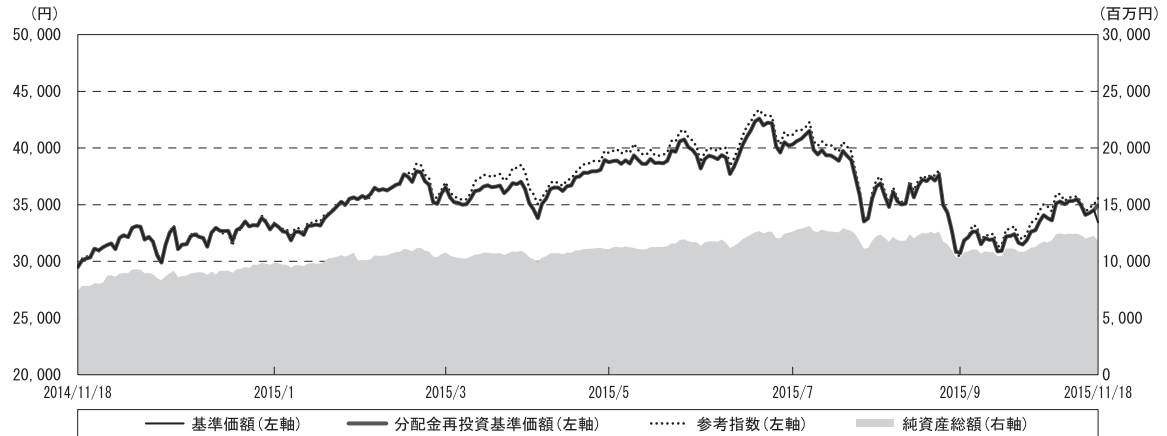
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：29,498円

期末：33,447円(既払分配金(税込み)：1,500円)

騰落率：18.5%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2014年11月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数(円換算ベース)です。作成期首(2014年11月18日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首29,498円から期末33,447円となりました。

(下落)

- ・2015年4月、独立系米バイオ医薬品メーカーが心不全の治療薬について米国FDA(食品医薬品局)の承認を受けるなど好材料があったものの、利益確定の売りに押されたこと。
- ・2015年8月から9月にかけて、人民元の切り下げが実施されたことを受けて、中国経済の減速に対する不安感が広がったこと、米国大統領選候補者が提案する医療費負担軽減策により医薬品会社の利益率や収益性が損なわれるのではないかとの見方が浮上したこと。

<Bコース>

(上昇)

- ・2014年12月から2015年2月にかけて、HIV/AIDS・肝炎などの治療薬に注力する米バイオテクノロジー会社が予想を上回る10-12月期決算を発表したこと、独立系米バイオ医薬品メーカーが関節リウマチ治療薬の治験において良好な結果を発表したこと。
- ・2015年5月、医療製品の研究開発と商品化を手掛ける米バイオ医薬品メーカーが市場予想を上回る1-3月期決算を発表したこと。
- ・為替については、対米ドルで円が売られたこと。

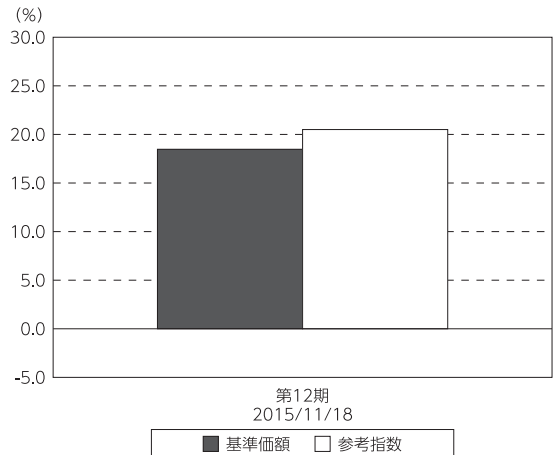
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）の20.5%の上昇に対し、基準価額は18.5%の上昇となりました。差異要因として、主なマイナス要因は、肝臓ガン治療薬の研究・開発及び商業化に従事するオーストラリアの特殊医薬品会社などの株価が下落したことなどがあげられます。主なプラス要因は、医療ニーズがまだ満たされていない薬品の開発などに注力する臨床期向け米バイオ製薬会社などの株価が上昇したことなどがあげられます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,500円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第12期
	2014年11月19日～ 2015年11月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,500 4.292%
当期の収益	1,500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	23,446

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の世界株式市場は、米国や欧州をはじめとする中央銀行の金融政策やギリシャ情勢、中国の景気動向、商品価格の変動などに左右される展開となり、期を通じて上昇となりました。

為替市場では、期を通じては、米ドルに対して円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース] [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース] は、主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 大型株と中型株を中心に、ニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しました。また、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行ってまいりました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド]

・投資環境

バイオ医薬品は、医薬品価格引下げ圧力の高まりなどのマイナス材料もあるものの、ここ最近の大型医薬品の承認や、有望な新薬のパイプラインの動向から、引き続き成長が期待できると考えており、今後数年にわたってヘルスケアセクターを上回る売上成長が期待できると見ています。こうした成長性に加えて、一般的に期待感が低くなっている中で良好な治験結果が示されれば、中長期的にはゲノム関連企業の株価は引き続き上昇基調が期待できると考えます。また、10月に株価は反発したものの、直近高値の水準までは戻り切っておらず、バリュエーション（投資価値評価）は依然として割安な水準にあると見ています。中長期的に見て良好な投資機会となる可能性もあると考えています。

・運用方針

大型株と中型株を中心に、画期的かつニーズが高く将来性が期待される薬品や、既存薬に無い特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しています。また、足元の株価調整を受け、既に製品のある中型株など特定の銘柄については、再投資や買い増しなどの投資機会を探っていく方針です。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース]

主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース]

主要投資対象である [ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年11月19日～2015年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	587	2.052	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(309)	(1.080)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(247)	(0.864)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(31)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	60	0.211	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(60)	(0.211)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	△ 3	△0.010	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(5)	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(△ 9)	(△0.031)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	644	2.254	
期中の平均基準価額は、28,627円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2014年11月19日～2015年11月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 170,858	千円 889,900	千口 325,818	千円 1,748,000

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2014年11月19日～2015年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	20,303,092千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	12,816,870千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.58	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2014年11月19日～2015年11月18日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替先物取引	百万円 1,267	百万円 17,020	7.4	百万円 1,278	百万円 16,605	7.7

<Aコース>

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
為替直物取引	百万円 2,919	百万円 669	22.9	百万円 1,443	百万円 677	46.9

平均保有割合 22.6%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2015年11月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 671,066	千口 516,106	千円 2,769,119	

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2015年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千円 2,769,119	% 92.3
コール・ローン等、その他	229,529	7.7
投資信託財産総額	2,998,648	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（14,470,297千円）の投資信託財産総額（15,608,204千円）に対する比率は92.7%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=123.37円、1スウェーデンクローナ=14.10円、1ノルウェークローネ=14.21円、1デンマーククローネ=17.60円、1ユーロ=131.29円、1豪ドル=87.74円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年11月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,592,068,733
コール・ローン等	27,181,682
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	2,769,119,097
未収入金	2,795,767,907
未収利息	47
(B) 負債	2,799,651,468
未払金	2,662,391,592
未払収益分配金	104,025,373
未払解約金	111,786
未払信託報酬	33,070,568
その他未払費用	52,149
(C) 純資産総額(A-B)	2,792,417,265
元本	1,040,253,737
次期繰越損益金	1,752,163,528
(D) 受益権総口数	1,040,253,737口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,844円

(注) 期首元本額1,191百万円、期中追加設定元本額297百万円、期中一部解約元本額448百万円、計算口数当たり純資産額26,844円。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額104,696,910円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

○損益の状況 (2014年11月19日～2015年11月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	19,616
受取利息	19,616
(B) 有価証券売買損益	314,931,341
売買益	814,348,738
売買損	△ 499,417,397
(C) 信託報酬等	△ 66,422,458
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	248,528,499
(E) 前期繰越損益金	670,153,376
(F) 追加信託差損益金	937,507,026
(配当等相当額)	(755,662,942)
(売買損益相当額)	(181,844,084)
(G) 計(D+E+F)	1,856,188,901
(H) 収益分配金	△ 104,025,373
次期繰越損益金(G+H)	1,752,163,528
追加信託差損益金	937,507,026
(配当等相当額)	(755,770,552)
(売買損益相当額)	(181,736,474)
分配準備積立金	814,656,502

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2014年11月19日～2015年11月18日)は以下の通りです。

項 目	第12期
	2014年11月19日～ 2015年11月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	5,181,414円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	243,347,085円
c. 信託約款に定める収益調整金	937,507,026円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	670,153,376円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,856,188,901円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	17,843円
g. 分配金	104,025,373円
h. 分配金(1万口当たり)	1,000円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	1,000円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

①運用報告書（全体版）について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2014年12月1日>

②デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年2月10日>

③有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年8月3日>

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年11月19日～2015年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 723	% 2.052	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(380)	(1.080)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(304)	(0.864)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(38)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	77	0.218	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(77)	(0.218)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	△ 2	△0.007	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(7)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(△ 10)	(△0.029)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	798	2.264	
期中の平均基準価額は、35,214円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2014年11月19日～2015年11月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	千口 1,742,528	千円 9,394,200	千口 1,205,934	千円 6,511,800

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2014年11月19日～2015年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	20,303,092千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	12,816,870千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.58	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2014年11月19日～2015年11月18日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース>

該当事項はございません。

<ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	$\frac{B}{A}$		百万円	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 2,919	百万円 669	% 22.9	百万円 1,443	百万円 677	% 46.9

平均保有割合 77.4%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

<Bコース>

○組入資産の明細

(2015年11月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	1,680,616	2,217,210	11,896,221

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2015年11月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド	11,896,221	93.5
コール・ローン等、その他	826,148	6.5
投資信託財産総額	12,722,369	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（14,470,297千円）の投資信託財産総額（15,608,204千円）に対する比率は92.7%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=123.37円、1スウェーデンクローナ=14.10円、1ノルウェークローネ=14.21円、1デンマーククローネ=17.60円、1ユーロ=131.29円、1豪ドル=87.74円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年11月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,722,369,617
コール・ローン等	119,248,060
ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド(評価額)	11,896,221,350
未収入金	706,900,000
未収利息	207
(B) 負債	930,615,924
未払収益分配金	528,830,278
未払解約金	279,680,967
未払信託報酬	121,912,247
その他未払費用	192,432
(C) 純資産総額(A-B)	11,791,753,693
元本	3,525,535,193
次期繰越損益金	8,266,218,500
(D) 受益権総口数	3,525,535,193口
1万口当たり基準価額(C/D)	33,447円

(注) 期首元本額2,523百万円、期中追加設定元本額2,812百万円、期中一部解約元本額1,810百万円、計算口数当たり純資産額33,447円。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額104,696,910円。(ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド)

○損益の状況 (2014年11月19日～2015年11月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	60,772
受取利息	60,772
(B) 有価証券売買損益	783,586,267
売買益	1,432,308,333
売買損	△ 648,722,066
(C) 信託報酬等	△ 222,001,920
(D) 当期損益金(A+B+C)	561,645,119
(E) 前期繰越損益金	1,077,437,233
(F) 追加信託差損益金	7,155,966,426
(配当等相当額)	(3,958,114,547)
(売買損益相当額)	(3,197,851,879)
(G) 計(D+E+F)	8,795,048,778
(H) 収益分配金	△ 528,830,278
次期繰越損益金(G+H)	8,266,218,500
追加信託差損益金	7,155,966,426
(配当等相当額)	(3,959,841,649)
(売買損益相当額)	(3,196,124,777)
分配準備積立金	1,110,252,074

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2014年11月19日～2015年11月18日)は以下の通りです。

項 目	第12期
	2014年11月19日～ 2015年11月18日
a. 配当等収益(経費控除後)	16,856,240円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	544,788,879円
c. 信託約款に定める収益調整金	7,155,966,426円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	1,077,437,233円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	8,795,048,778円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	24,946円
g. 分配金	528,830,278円
h. 分配金(1万口当たり)	1,500円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	1,500円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

①運用報告書（全体版）について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2014年12月1日>

②デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年2月10日>

③有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年8月3日>

ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン マザーファンド

運用報告書

第12期（決算日2015年11月18日）

作成対象期間（2014年11月19日～2015年11月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界主要市場のバイオテクノロジー関連企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率	純資産額
	期騰落	中率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	期騰落中率			
	円	%		%	%	%	百万円
8期(2011年11月18日)	11,689	△11.7	103.90	△1.3	98.1	—	3,945
9期(2012年11月19日)	16,526	41.4	156.21	50.3	97.5	—	4,422
10期(2013年11月18日)	29,877	80.8	310.85	99.0	96.8	—	9,050
11期(2014年11月18日)	44,430	48.7	492.84	58.5	95.7	—	10,448
12期(2015年11月18日)	53,654	20.8	593.89	20.5	91.9	—	14,665

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*参考指数（＝ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース））は、ナスダック・バイオテック指数（US\$ベース）を当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。
(出所) ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率
	騰落	率	ナスダック・バイオテック指数 (円換算ベース)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2014年11月18日	44,430	—	492.84	—	95.7	—
11月末	47,444	6.8	525.01	6.5	91.8	—
12月末	48,960	10.2	543.58	10.3	95.3	—
2015年1月末	50,386	13.4	558.51	13.3	92.4	—
2月末	54,039	21.6	594.76	20.7	90.2	—
3月末	55,513	24.9	617.87	25.4	91.8	—
4月末	52,621	18.4	600.56	21.9	90.8	—
5月末	58,981	32.8	661.36	34.2	95.3	—
6月末	58,183	31.0	647.46	31.4	92.1	—
7月末	61,565	38.6	687.93	39.6	91.2	—
8月末	56,350	26.8	626.12	27.0	92.1	—
9月末	46,942	5.7	508.92	3.3	93.5	—
10月末	51,826	16.6	581.99	18.1	92.8	—
(期末)						
2015年11月18日	53,654	20.8	593.89	20.5	91.9	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数(円換算ベース)です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首44,430円から期末53,654円となりました。

(下落)

- ・ 2015年4月、独立系米バイオ医薬品メーカーが心不全の治療薬について米国FDAの承認を受けるなど好材料があったものの、利益確定の売りに押されたこと。
- ・ 2015年8月から9月にかけて、人民元の切り下げが実施されたことを受けて、中国経済の減速に対する不安感が広がったこと、米国大統領選候補者が提案する医療費負担軽減策により医薬品会社の利益率や収益性が損なわれるのではないかとの見方が浮上したこと。

(上昇)

- ・ 2014年12月から2015年2月にかけて、HIV/AIDS・肝炎などの治療薬に注力する米バイオテクノロジー会社が予想を上回る10-12月期決算を発表したこと、独立系米バイオ医薬品メーカーが関節リウマチ治療薬の治験において良好な結果を発表したこと。
- ・ 2015年5月、医療製品の研究開発と商品化を手掛ける米バイオ医薬品メーカーが市場予想を上回る1-3月期決算を発表したこと。
- ・ 為替については、対米ドルで円が売られたこと。

○投資環境

期中の世界株式市場は、米国や欧州をはじめとする中央銀行の金融政策やギリシャ情勢、中国の景気動向、商品価格の変動などに左右される展開となり、期を通じて上昇となりました。

為替市場では、期を通じては、米ドルに対して円安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界のバイオテクノロジー関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を医学・薬学的視点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) 大型株と中型株を中心に、ニーズが高く将来性が期待される薬品や既存薬にない特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しました。また、バイオテクノロジー業界内で多くの新興企業の中から銘柄を発掘するなど、厳選した企業に対する投資を行ってまいりました。

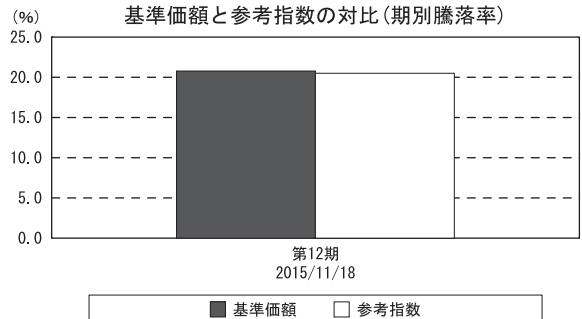
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）の20.5%の上昇に対し、基準価額は20.8%の上昇となりました。差異要因として、主なマイナス要因は、肝臓ガン治療薬の研究・開発及び商業化に従事するオーストラリアの特殊医薬品会社などの株価が下落したことなどがあ

げられます。主なプラス要因は、医療ニーズがまだ満たされていない薬品の開発などに注力する臨床期向け米バイオ製薬会社などの株価が上昇したことなどがあげられます。



(注) 参考指数は、ナスダック・バイオテック指数（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

○投資環境

バイオ医薬品は、医薬品価格引下げ圧力の高まりなどのマイナス材料もあるものの、ここ最近の大型医薬品の承認や、有望な新薬のパイプラインの動向から、引き続き成長が期待できると考えており、今後数年にわたってヘルスケアセクターを上回る売上成長が期待できると見えています。こうした成長性に加えて、一般的に期待感が低くなっている中で良好な治験結果が示されれば、中長期的にはゲノム関連企業の株価は引き続き上昇基調が期待できると考えます。また、10月に株価は反発したものの、直近高値の水準までは戻り切っておらず、バリュエーション（投資価値評価）は依然として割安な水準にあると見えています。中長期的に見て良好な投資機会となる可能性もあると考えています。

○運用方針

大型株と中型株を中心に、画期的かつニーズが高く将来性が期待される薬品や、既存薬に無い特徴を有した薬品で、開発の最終段階に近づいている企業に注目しています。また、足元の株価調整を受け、既に製品のある中型株など特定の銘柄については、再投資や買い増しなどの投資機会を探っていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年11月19日～2015年11月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 116 (116)	% 0.217 (0.217)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	△ 6 (10) (△ 16)	△0.011 (0.019) (△0.030)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	111	0.207	
期中の平均基準価額は、53,567円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年11月19日～2015年11月18日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 18,335	千米ドル 85,026	百株 15,053	千米ドル 71,420
	デンマーク	388	千デンマーククローネ 13,779	991	千デンマーククローネ 32,005
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	フランス	1,089	2,044	158	509
	オーストラリア	—	千豪ドル —	992	千豪ドル 1,825

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2014年11月19日～2015年11月18日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	20,303,092千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	12,816,870千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.58

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2014年11月19日～2015年11月18日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 2,919	百万円 669	% 22.9	百万円 1,443	百万円 677	% 46.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2015年11月18日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
ACCELERON PHARMA INC	376	466	1,667	205,758	バイオテクノロジー	
ACHILLION PHARMACEUTICALS	932	—	—	—	バイオテクノロジー	
ADVAXIS INC	—	1,176	1,395	172,213	バイオテクノロジー	
ATIMMUNE THERAPEUTICS INC	—	639	1,182	145,920	バイオテクノロジー	
ALDER BIOPHARMACEUTICALS INC	—	420	1,480	182,597	バイオテクノロジー	
ALEXION PHARMACEUTICALS INC	224	316	5,410	667,460	バイオテクノロジー	
AMGEN INC	396	340	5,366	662,037	バイオテクノロジー	
AMICUS THERAPEUTICS INC	1,694	3,655	3,450	425,665	バイオテクノロジー	
BIOMARIN PHARMACEUTICAL INC	633	598	6,417	791,756	バイオテクノロジー	
BIOGEN INC	197	192	5,370	662,615	バイオテクノロジー	
CARA THERAPEUTICS INC	—	810	1,221	150,693	バイオテクノロジー	
CELGENE CORP	599	733	8,144	1,004,770	バイオテクノロジー	
CHIMERIX INC	—	322	1,269	156,675	バイオテクノロジー	
CLOVIS ONCOLOGY INC	192	—	—	—	バイオテクノロジー	
GILEAD SCIENCES INC	389	810	8,466	1,044,565	バイオテクノロジー	
HALOZYME THERAPEUTICS INC	2,547	1,788	2,797	345,184	バイオテクノロジー	
IMMUNE DESIGN CORP	—	603	1,150	141,940	バイオテクノロジー	
IMMUNOGEN INC	547	—	—	—	バイオテクノロジー	
INCYTE CORP	814	613	6,956	858,201	バイオテクノロジー	
INSMED INC	357	—	—	—	バイオテクノロジー	
INTERCEPT PHARMACEUTICALS INC	62	144	2,425	299,256	バイオテクノロジー	
KARYOPHARM THERAPEUTICS INC	285	285	458	56,608	バイオテクノロジー	
KERYX BIOPHARMACEUTICALS	1,575	—	—	—	バイオテクノロジー	
MEDIVATION INC	193	—	—	—	バイオテクノロジー	
NPS PHARMACEUTICALS INC	925	—	—	—	バイオテクノロジー	
NEUROCRINE BIOSCIENCES INC	—	258	1,400	172,738	バイオテクノロジー	
ONCOMED PHARMACEUTICALS INC	738	—	—	—	バイオテクノロジー	
PTC THERAPEUTICS INC	623	893	2,954	364,550	バイオテクノロジー	
PORTOLA PHARMACEUTICALS INC	655	185	921	113,637	バイオテクノロジー	
PRONAI THERAPEUTICS INC	—	448	766	94,566	バイオテクノロジー	
REGENERON PHARMACEUTICALS	108	159	9,077	1,119,887	バイオテクノロジー	
REGENXBIO INC	—	248	552	68,106	バイオテクノロジー	
RELYPSA INC	454	594	1,097	135,424	医薬品	
SEATTLE GENETICS INC	538	835	3,780	466,447	バイオテクノロジー	
SYNAGEVA BIOPHARMA CORP	332	—	—	—	バイオテクノロジー	
TESARO INC	—	280	1,354	167,052	バイオテクノロジー	
TG THERAPEUTICS INC	—	970	1,248	154,013	バイオテクノロジー	
THERAVANCE INC	295	—	—	—	医薬品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	277	405	5,485	676,723	ライフサイエンス・ツール/サービス	
UNITED THERAPEUTICS CORP	100	138	2,042	252,004	バイオテクノロジー	
VERTEX PHARMACEUTICALS	130	467	5,989	738,954	バイオテクノロジー	
UNIQUE B.V.	—	679	1,199	148,018	バイオテクノロジー	
小 計	株 数	金 額	17,188	20,470	102,505	12,646,049
	銘柄 数 < 比 率 >		30	32	—	< 86.2% >
(デンマーク)			千デンマーククローネ			
GENMAB A/S	201	—	—	—	—	バイオテクノロジー

銘柄	株数	株数	評価額		業種等
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(デンマーク) NOVO NORDISK A/S-B	百株 1,392	百株 990	千デンマーククローネ 37,600	千円 661,775	医薬品
小計	株数・金額 1,593	990	37,600	661,775	
	銘柄数<比率>	2	1	<4.5%>	
(ユーロ…フランス) INNATE PHARMA SA	—	931	千ユーロ 1,295	170,145	バイオテクノロジー
ユーロ計	株数・金額 —	931	1,295	170,145	
	銘柄数<比率>	—	1	<1.2%>	
(オーストラリア) SIRTEX MEDICAL LTD	992	—	千豪ドル —	—	バイオテクノロジー
小計	株数・金額 992	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	<—%>	
合計	株数・金額 19,774	22,392	—	13,477,970	
	銘柄数<比率>	33	34	<91.9%>	

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*邦貨換算金額欄の〈〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

*株数・評価額の単位未満は切り捨て。

*—印は組み入れなし。

*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2015年11月18日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 13,477,970	% 86.4
コール・ローン等、その他	2,130,234	13.6
投資信託財産総額	15,608,204	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（14,470,297千円）の投資信託財産総額（15,608,204千円）に対する比率は92.7%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=123.37円、1スウェーデンクローナ=14.10円、1ノルウェークローネ=14.21円、1デンマーククローネ=17.60円、1ユーロ=131.29円、1豪ドル=87.74円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年11月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	15,978,284,368
コール・ローン等	1,537,355,730
株式(評価額)	13,477,970,672
未収入金	959,828,977
未取配当金	3,127,078
未取利息	1,911
(B) 負債	1,313,005,372
未払金	409,805,372
未払解約金	903,200,000
(C) 純資産総額(A-B)	14,665,278,996
元本	2,733,317,264
次期繰越損益金	11,931,961,732
(D) 受益権総口数	2,733,317,264口
1万口当たり基準価額(C/D)	53,654円

(注) 期首元本額2,351百万円、期中追加設定元本額1,913百万円、期中一部解約元本額1,531百万円、計算口数当たり純資産額53,654円。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Aコース 516百万円
 ・ワールド・ゲノムテクノロジー・オープン Bコース 2,217百万円

○損益の状況 (2014年11月19日～2015年11月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	31,249,932
受取配当金	30,702,751
受取利息	578,780
その他収益金	11,082
支払利息	△ 42,681
(B) 有価証券売買損益	2,159,520,631
売買益	3,674,870,677
売買損	△ 1,515,350,046
(C) 保管費用等	1,642,119
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,192,412,682
(E) 前期繰越損益金	8,096,883,193
(F) 追加信託差損益金	8,370,713,377
(G) 解約差損益金	△ 6,728,047,520
(H) 計(D+E+F+G)	11,931,961,732
次期繰越損益金(H)	11,931,961,732

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

①デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2015年2月10日＞

②有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2015年8月3日＞